

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|---|
| 学校名 | 独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター附属 善通寺看護学校 |
| 設置者名 | 独立行政法人国立病院機構理事長 楠岡 英雄 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・ 通信 制の 場合 | 実務経験のあ る教員等によ る授業科目の 単位数又は授 業時数 | 省令で定める 基準単位数又 は授業時数 | 配 置 困 難 |
|------------------|------|-----------------------|---|---------------------------|------------------|
| 看護専門課程 (三年課程) | 看護学科 | 夜・ 通信 | 9 単位 | 9 単位 | |
| | | 夜・ 通信 | | | |
| | | 夜・ 通信 | | | |
| | | 夜・ 通信 | | | |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|---|
| ホームページアドレス： https://shikoku-mc.hosp.go.jp/kango/index.php |
|---|

3. 要件を満たすことが困難である学科

| |
|-----------|
| 学科名 |
| (困難である理由) |

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

| | |
|------|---------------------------------------|
| 学校名 | 独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター附属善通寺看護学校 |
| 設置者名 | 独立行政法人国立病院機構理事長 楠岡 英雄 |

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

| | |
|----|---|
| 名称 | 学校運営会議 |
| 役割 | <p>学校運営会議は、本学校の運営の円滑化及び適正化を図ることを目的に、審議事項について、審議を実施する。</p> <p>審議事項は、学校の規程の制定改廃、学校予算の執行計画、教育課程の構成に関する事項、各年度の教育計画に関する事項、学校の講師と実習施設選定に関する事項、学生募集および入学に関する事項、学生の単位や卒業認定に関する事項、学生の休学・復学・退学に関する事項、転入学者の履修単位等の認定に関する事項、学生の就職に関する事項、学校運営の評価に関する事項、学校の施設設備に関する事項、その他学校の運営に関し重要と認める事項である。</p> <p>外部委員を含め、構成員の意見をもとに審議事項の決定や審議事項に関する見直し・修正を実施し、学校運営の円滑化及び適正化を図っている。</p> <p>構成員は、学校長、副学校長、事務長、教育主事、教員、実習調整者、学校長の委託する講師、事務主任及び病院の副院長、事務部長、看護部長をもって組織する。また、独立行政法人国立病院機構他施設の者を会議構成委員として加えることができ、学校長が選任し、招集することとしている。</p> <p>運営会議規程には、構成員について示しているが、構成員の定数については示していない。今後、運営会議で規程の見直しについて審議し、2020年4月1日までに、規程に構成員の定数を明記していく。</p> |

2. 外部人材である構成員の一覧表

| 前職又は現職 | 任期 | 備考（学校と関連する経歴等） |
|---------|----------------------------|---------------------|
| 病院 副院長 | 2019. 4. 1 ～2020. 3. 31 | 院内講師として講義を実施した経験を持つ |
| 病院 副院長 | 2019. 4. 1 ～2020. 3. 31 | 院内講師として講義を実施 |
| 病院 事務部長 | 2019. 4. 1 ～2020. 3. 31 | 院内講師として講義を実施 |
| 病院 看護部長 | 2019. 4. 1 ～2020. 3. 31 | 院内講師として講義を実施 |
| (備考) | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|---------------------------------------|
| 学校名 | 独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター附属普通寺看護学校 |
| 設置者名 | 独立行政法人国立病院機構理事長 楠岡 英雄 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|---|--|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> | |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>カリキュラムの実施状況について、各科目の内容、方法、進行について、適宜、教員会議で検討し、評価・修正を加えながら実施している。</p> <p>授業計画(シラバス)は、毎年、1月～3月にかけて、学生による授業評価及び講師による授業自己評価の分析結果、テキストの改定内容、看護師国家試験出題基準をもとに確認と見直しを行い作成している。</p> <p>授業計画(シラバス)には、教育課程進度表、教育課程構築の考え方、全授業科目と科目目標、講師名簿、評価計画、講義要綱、実習要綱を掲載している。学生が3年間の教育課程を把握し、学習がどのように進むのか、各科目で何を学ぶのか、どのような評価方法なのかを理解し、学習に取り組むことができるようにしている。</p> <p>授業科目毎に、科目区分、単位数、授業時間、授業時期、担当講師名、授業目標、授業概要、授業の進め方、履修のポイント・留意事項、テキスト、評価方法、看護師国家試験出題基準のキーワードを示している。また、実務経験のある教員が担当する授業科目については、実務経験状況を記載している。学生は、授業前に上記の内容を確認し、授業準備に活用している。</p> <p>成績評価方法については、授業計画(シラバス)に、筆記試験、口述試験、レポート、実技試験で学習成果を判定することを示している。加えて、学生便覧にも示している。学生便覧には、成績評価の基準について、優(80点以上)、良(70点以上80点未満)、可(60点以上70点未満)、不可(60点未満)と示し、可以上が合格と記載している。</p> <p>授業計画(シラバス)の公表については、年度始めの4月に学生に配布し、学生便覧に記載している履修規程と学び方についてと一緒に説明している。履修規程や学び方についての中には再試験や追試験、補習に関する事項について記載し、学生が把握できるようにしている。</p> | |
| 授業計画書の公表方法 | ホームページアドレス： https://shikokumc.hosp.go.jp/kango/school/curriculum.php |

| | |
|--|---|
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> | |
| <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果の規程については、学生便覧に履修規程を明記している。また、履修規程に基づいた学び方も明文化しており、学生の履修に関する理解を支援している。</p> <p>授業科目の学習成果の評価については、授業計画（シラバス）に記載された成績評価の方法（筆記試験、口述試験、レポート、実技試験）により、成績評価基準である、優（80点以上）、良（70点以上80点未満）、可（60点以上70点未満）、不可（60点未満）に基づき単位認定を行っている。臨地実習においては、実習指導者、専任実習指導者、当該実習場所の看護管理者、実習の担当教員で、評価について意見交換し、客観的に評価を実施している。口述試験、レポート、実技試験においては、評価の視点について教員会議で検討する機会を設け、担当教員の主観ではなく、客観的に判断している。</p> <p>成績評価基準において、不可（60点未満）の場合は再試験や再実習、やむを得ない理由で終了試験を受けることができなかつたり、評価を受けることができなかつた場合は、追試験や追実習の機会を設け、単位認定に向けて支援している。</p> | |
| <p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> | |
| <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出し、100点満点で点数化し、0点から59点を0、60点から69点を1、70点から79点を2、80点から100点を3とし、4段階で各指標の数値に該当する学生の人数を示し、成績の分布状況を把握する。なお、入学前の大学等での既修得単位で、学校運営会議を経て認定された科目については、各学年の総科目数から認定科目を除いたもので平均点を出し、GPAを算出していく。今後、各学年の年度末の成績の平均値、卒業時の三年間の成績の平均値について、GPA4段階評価の結果を算出し、学生個々に成績分布について公表していく。</p> | |
| <p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p> | <p>ホームページアドレス： https://shikokumc.hosp.go.jp/kango/school/curriculum.php</p> |

| | |
|--|--|
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定に係る方針については、教育理念・教育目的・教育目標に、卒業時に身に付けるべき資質・能力についてわかりやすく示している。教育理念には、生命の尊厳を基盤とした専門職としての智慧を得て、科学的根拠に基づいて対象に応じた看護を創造し、高い倫理観のもと豊かな人間性を身に付け、誠実の行動できる看護実践者を育成していくことを示している。学生には、どのような学修成果を挙げれば卒業が認定されるのか、理解できるようにしている。</p> <p>学生便覧に掲載している学則・学則細則に、卒業の要件、卒業判定について示している。卒業の要件は、学則の別表に示す全授業科目の単位修得の認定を受け、欠席日数が出席すべき日数の三分の一を超えない者としている。卒業判定については、学校運営会議において、卒業予定の学生の単位修得状況、出席状況についての資料を提示し、会議構成委員の議を経て実施している。</p> | |
| <p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p> | <p>ホームページアドレス： https://shikokumc.hosp.go.jp/kango/school/curriculum.php</p> |

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|---|
| 学校名 | 独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター 附属善通寺看護学校 |
| 設置者名 | 独立行政法人国立病院機構理事長 楠岡 英雄 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | https://nho.hosp.go.jp/files/000108720.pdf |
| 収支計算書又は損益計算書 | https://nho.hosp.go.jp/files/000108720.pdf |
| 財産目録 | |
| 事業報告書 | https://nho.hosp.go.jp/files/000108720.pdf |
| 監事による監査報告（書） | https://nho.hosp.go.jp/files/000108720.pdf |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|----------------------|---------------|----------------------|-------------|-------------|
| 医療 | | 看護専門課程 | 看護学科 | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 3,000時間/100単位 単位時間/単位 | 1,785 時間/ 70単位 | 180時間 /7単位 | 1,035 時間/ 23単位 | 0時間/0 単位 | 0時間/0 単位 |
| | | 100単位 3,000時間 | | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 240人 | | 231人 | 0人 | 15人 | 84人 | 99人 | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| <p>（概要）</p> <p>年間の授業計画については、1年次から基礎分野・専門基礎分野を学ぶと同時に、専門分野の授業科目も学ぶことができるよう、教育課程進度表を作成している。教育課程進度表に基づき、年間の時間割の中で各学年の履修すべき科目を終了できるよう計画している。</p> <p>授業内容について、基礎分野は、看護の対象である人間と社会について幅広く理解し、看護師に必要な科学的思考・判断力と行動力やコミュニケーション能力を高め、豊かな人間性を養う内容としている。専門基礎分野は、人体の構造と機能について、器官系統的に組み立てて学習し、疾病の成り立ちと回復の促進では、基礎的知識を学習し、健康障害における看護を実践する際の、観察力・判断力の根拠を学習する内容としている。また、健康支援と社会保障制度では、医療従事者が身につけておくべき確かな倫理的判断や行動規範を学習する内容としている。専門分野では、看護を実践するために必要な基礎、あらゆる年代や様々な健康段階の個人と家族及び集団や地域社会に対応した看護の知識と実際、保健医療福祉の連携の重要性と在宅における必要な看護、協働する職種の中での看護の役割や既習した知識・技術・態度の統合を図る内容としている。授業内容は、シラバスで明確にし、各科目との関連性を検討しながら</p> |

ら内容の重複を整理し、看護師国家試験出題基準を反映させて、毎年度末、見直しをしている。

授業方法については、講義、グループワーク、技術演習に加え、シミュレーション教育を導入した技術演習、SP 演習、臨地実習の方法を取り入れている。

成績評価の基準・方法

(概要)

成績評価の基準は、優（80 点以上）、良（70 点以上 80 点未満）、可（60 点以上 70 点未満）、不可（60 点未満）とし、可以上を合格としている。成績評価の基準については、学生便覧に記載し、学生に公表している。

成績評価の方法は、筆記試験、口述試験、レポート、実技試験で学習成果を判定している。成績評価の方法は、授業計画（シラバス）、学生便覧に記載し、学生に公表している。

卒業・進級の認定基準

(概要)

卒業については、学生便覧に掲載している学則・学則細則に、卒業の要件、卒業判定に関する事項を示している。卒業の要件は、学則の別表に示す全授業科目の単位修得の認定を受け、欠席日数が出席すべき日数の三分の一を超えない者としている。卒業判定については、学校運営会議において、卒業予定の学生の単位修得状況、出席状況についての資料を提示し、会議構成委員の議を経て実施している。

進級については、学生便覧に掲載している学則細則に、進級の要件、認定基準に関する事項について明文化している。進級の要件は、各学年に配当された授業科目のすべての単位が認定された者としている。ただし、不合格となった科目が 2 科目以内である者については、学校運営会議において単位修得状況を提示し、会議構成委員の議を経て進級の認定をしている。

学修支援等

(概要)

入学時には、新入生オリエンテーションを実施し、学習や学校生活等について説明し、1 年生担当教員が学生全員の面接を実施している。

1 年生、2 年生、3 年生、学生個々に対してポートフォリオを活用し、学年目標の達成状況を確認しながら指導している。学生の科目履修状況を確認し、成績の状況によって個別に学習指導を実施している。

また、定期的および必要時に個別面接を実施し、学習と生活について指導をしている。支援体制としては、学年担当の教育主事と相談しながら各学年の担任と主任が関わりっており、深刻な問題発生時は副学校長が面接を実施する体制としている。特に、3 年次には、就職・進学に向けての個別指導も強化している。

看護師国家試験対策としては、1 年次は、国家試験についての説明、学習方法の説明とノート作り、解剖生理学を中心とした模擬試験を実施している。2 年次は、基礎学力アップのための模擬試験を中心に実施し、臨地実習と関連づけながら学習会を実施し支援している。3 年次には、国家試験合格に向けての専門業者による対策講義、特別講義の企画、模擬試験、個別学習指導を実施し支援している。模擬試験は、必修問題の集中強化、一般・状況設定問題の強化と段階的に学習支援をしている。

さらに、月 4 回程度、希望する学生が、スクールカウンセラーによるカウンセリングを受けられる体制を整備し、学生が活用できるよう支援している。

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|--|--------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 （自営業を含む。） | その他 |
| 75人 (100%) | 5人 (6.7%) | 70人 (93.3%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) 看護師（国立病院機構、公的病院等） | | | |
| (就職指導内容) 1年次終了時点で、進路希望も踏まえて面接を実施し、相談を受けている。 2年次は、インターンシップへの参加を促しながら、2年次終了時点で進路の方向性が明確になるよう面接を実施し相談を受けている。 3年次は、4月に再度、全員面接を実施し、特に進路の迷いがある学生については、早めに方向性が明確になるよう導き、学生自身の希望を尊重しながら、就職先を自己決定できるように指導している。 | | | |
| (主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家資格 | | | |
| (備考)（任意記載事項） | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|--|----------------|------|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 231人 | 5人 | 2.2% |
| (中途退学の主な理由) 進路変更 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 定期的また必要時に面談し、学生の思いや考えを聞き、保護者とも連絡をとり、学生の情報を提供しながら支援している。学生が希望を聞き、必要時はスクールカウンセラーによるカウンセリングを受けることができるよう、配慮している。 | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|---------------|-----------|-------------|----------|-------------|
| 看護学科 | 200,000 円 | 500,000 円 | 50,000 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| | | | | |

b) 学校評価

| |
|--|
| 自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス： https://shikoku-mc.hosp.go.jp/kango/school/evaluation.php |
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 副学校長、教育主事、教員による自己点検・自己評価は、年度末1～3月にかけて、「教育理念・教育目的・教育目標」「教育課程経営」「教授・学習・評価過程」「経営・管理過程」「入学」「卒業・就業・進学」「地域社会/国際交流」「研究」の8領域の評価項目、下位67項目を評価し、前年度の結果と比較しながら、課題の達成状況を分析する。 学校関係者評価については、国立病院機構中国四国グループに、本校を含め10校の看護学校があり、全国国立病院附属看護学校副学校長・教育主事協議会中国四国支部において、学校相互評価委員会を設置し、学校相互評価を実施している。 学校相互評価委員会の構成員は、中国四国支部の副学校長・教育主事となっている。また、評価校が必要と認めた場合は、国立病院機構以外の看護師学校養成所の教育に携わっている者で、副学校長・教育主事に相当する者を評価者として加えている。 学校相互評価は、学校運営・管理を客観視し、教育活動の改善に役立てることを目的として、実施要領に基づき実施している。 評価項目は、「教育理念・教育目的・教育目標」「教育課程経営」「教授・学習・評価過程」「経営・管理過程」「入学」「卒業・就業・進学」「地域社会/国際交流」「研究」の8領域、下位67項目から構成されている。 評価は、まず、学校相互評価受審校が、全国国立病院附属看護学校副学校長・教育主事協議会中国四国支部作成の評価書(8領域、下位67項目)に基づき、自己評価を実施する。結果を自己評価書にまとめ、評価者に提出する。評価者は自己評価書をもとに、受審校での現地調査と、副学校長、教育主事、教員、学生からの意見聴取によって、評価を実施する。評価者は評価結果についての意見交換をもとに、学校相互評価報告書を受審校に提出する。受審校は、学校相互評価の結果から課題について学校全体で討議しながら、教育課程の見直し計画を立案し、取り組んでいくことにしている。 2019年度に、上記の実施方法・体制で学校相互評価を受審する。学校関係者評価については、委員会を立ち上げる準備を進め、2019年度中に学校関係者評価委員会を開催し、学校評価結果について報告し、意見交換の上、明確になった課題に取り組み学校運営を実施していく。 |

| <p>学校関係者評価の委員 学校関係者評価を確実に実施し、2020年度からはその結果を公表するために委員の選任を行う。現在、以下の委員を検討中である。</p> | | |
|---|----|-----------------|
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 卒業生 | 1年 | 本校の教育経験がある者 |
| 外部講師 | 1年 | 教育に知見のある者 |
| 外部講師 | 1年 | 看護技術教育に知見のある者 |
| 実習施設講師 | 1年 | 実習教育に知見のある者 |
| 同窓生 | 1年 | 本校への支援に力を発揮できる者 |
| <p>学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス：https://shikoku-mc.hosp.go.jp/kango/school/evaluation.php 自己点検・自己評価、学校相互評価については、すでにホームページに公表している。 学校関係者評価結果は、2020年度から公表する。</p> | | |
| <p>第三者による学校評価 (任意記載事項)</p> | | |
| | | |

c) 当該学校に係る情報

| |
|--|
| <p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス：https://shikoku-mc.hosp.go.jp/kango/index.php</p> |
|--|